

## 週報

## 感染性胃腸炎(腸管病原菌)検出

センター受託検査分より

検出菌 ウイルス	2018年												2019年											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月 ~5日	5月 ~12日	5月 ~19日	5月 ~26日	6月 ~2日	6月 ~9日	6月 ~16日	6月 ~23日
カンピロバクター	37	39	48	105	75	71	122	98	160	113	109	109	56	46	78	65	8	26	21	32	17	24	0 (27)	0
病原性大腸菌	66	51	44	98	78	83	111	80	73	69	119	157	85	81	77	69	7	17	12	15	15	11	13 (14)	9
腸管出血性大腸菌	0	1	1	0	0	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
サルモネラ	3	1	1	5	3	20	12	22	13	9	5	13	5	3	11	6	0	1	1	1	3	3	2	3
黄色ブドウ球菌 MSSA	14	11	7	24	10	10	16	26	20	17	22	19	10	9	12	13	0	4	3	7	1	7	4	5
黄色ブドウ球菌 MRSA	12	11	13	12	12	17	14	11	18	7	18	22	22	16	22	14	1	5	1	4	3	1	2	5
腸炎ヒブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	
その他	0	7	5	3	1	2	4	2	2	1	3	3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3	0
ロタウイルス	2	11	18	50	10	0	0	0	0	0	0	1	2	3	2	9	0	2	1	1	0	1	2	2
アデノウイルス	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0
ノロウイルス	13	13	17	4	4	2	3	0	0	0	6	23	23	23	11	11	0	1	1	0	2	0	2	1

\* ( ) は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

### 広島県感染症発生動向週報

令和元年第25週(6月17日~6月23日)

#### 2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	6	結核	6	1		4	1			
三類	1	腸管出血性大腸菌感染症	1							1
四類	3	日本紅斑熱	1			1				
		レジオネラ症	2					2		
五類全数	16	アメーバ赤痢	1					1		
		カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	2				1		1	
		梅毒	4					4		
		百日咳	6	1			4	1		
		麻疹	3		1			1		

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市 西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町  
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町 北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

広島県感染症情報センター 提供

## 定点・全数把握疾患週報【広島市】(第25週 6/17～6/23)

広島市感染症対策協議会/広島市感染症情報センター 提供

## 1. 手足口病

定点当たり報告数は7.78人と、第21週以降増加が続いており、過去5年間の同時期と比べてかなり多くなっています。

手足口病は感染してから3～5日後に、口の中や手足などに水疱性の発しんが出ます。ほとんどは数日のうちに治りますが、まれに髄膜炎や脳炎などの合併症を引き起こすことがあるため、注意が必要です。

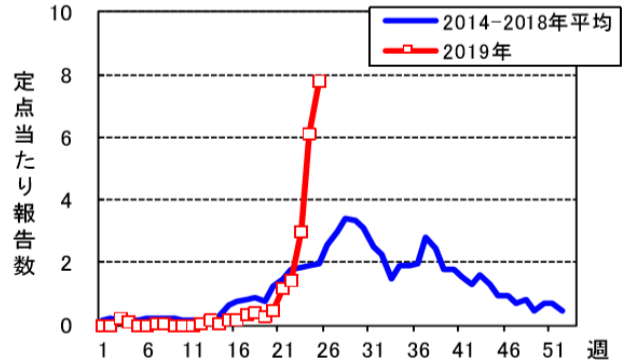
## 2. 梅毒

4件の報告があり、今年の累計は48件(男性30件、女性18件)となりました。

## 3. 麻しん

1件の報告があり、今年の累計は5件となりました。

手足口病の流行状況



【参考】厚生労働省「手足口病に関するQ&A」  
<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/hfmd.html>

## ■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	急増減		前週と比較しておおむね1:2以上の増減
												増減	微増減	
フィン	インフルエンザ	-	-	0.02		小児科	流行性耳下腺炎	5	0.22	0.83		急増減	↑	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
小児科	咽頭結膜熱	20	0.87	0.66	↗	小児科	RSウイルス感染症	11	0.48	0.17		増減	↘	前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	52	2.26	3.03	↘		眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-		微増減	↔
	感染性胃腸炎	144	6.26	6.47	↔	眼科	流行性角結膜炎	6	0.75	1.13		横ばい	↔	ほとんど増減なし
	水痘	5	0.22	0.51	↘	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-				
	手足口病	179	7.78	1.98	↗		無菌性髄膜炎	-	-	0.03				
	伝染性紅斑	10	0.43	0.35	↘		マイコプラズマ肺炎	1	0.14	0.12				
	突発性発しん	8	0.35	0.53	↘		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-				
	ヘルパンギーナ	46	2.00	1.38	↘		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.26				

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	23
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

## ■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
4	レジオネラ症	2	10	男性(40歳代)、男性(60歳代)・市外
5	アメーバ赤痢	1	4	男性(50歳代)
5	梅毒	4	48	女性(30歳代)、男性(40歳代)、男性(50歳代)、女性(60歳代)
5	百日咳	1	29	女性(10歳未満)
5	麻しん	1	5	男性(30歳代)

## ■新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
手足口病	紅斑	2	男	2019/05/20	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA6型
ヘルパンギーナ	上気道炎	3	女	2019/05/18	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA6型
その他の呼吸器疾患	発熱(39.1) 上気道炎	1	男	2019/04/12	鼻汁	ライノウイルス
その他の眼疾患	左眼結膜充血 眼脂 異物感	44	女	2019/05/01	結膜擦過物	アデノウイルス56型

\* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載